

農技セ第2554号
平成19年10月5日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成19年度農作物病虫害発生予察情報について

平成19年度農作物病虫害発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

8月以降、平年に比べて高温少雨傾向の気候が続いており、ハスモンヨトウの発生量の増大が懸念されます。現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

平成19年度病虫害発生予察注意報第4号

平成19年10月5日
徳 島 県

農作物名 野菜全般
病虫害名 ハスモンヨトウ

1. 発生地域 県下全域
2. 発生時期 10月上旬～
3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

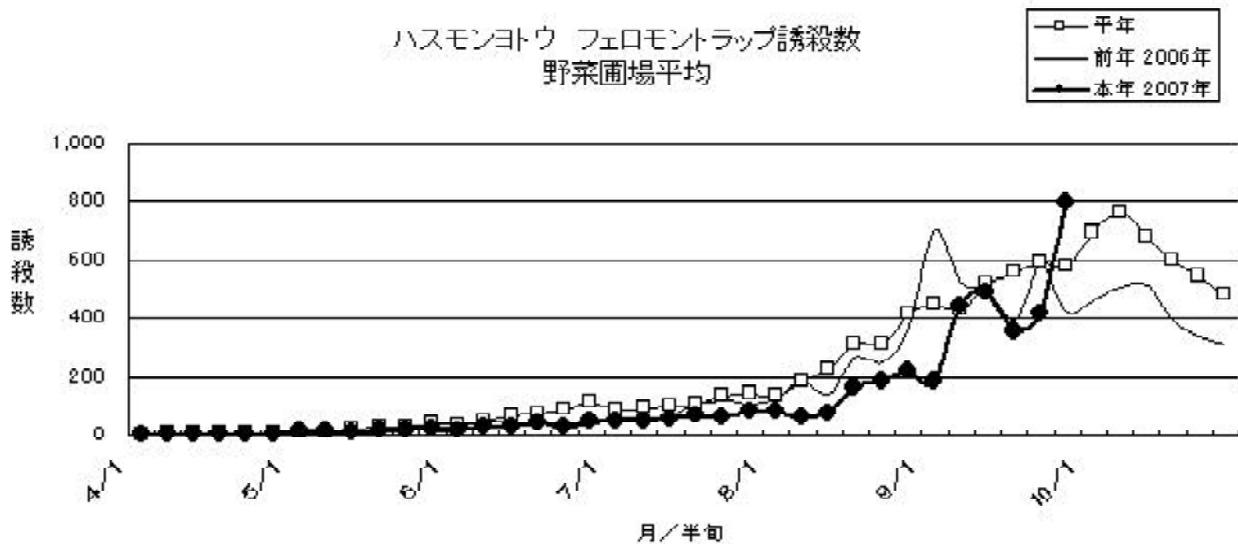
4. 注意報発令の根拠

- (1) 9月後半における夏秋ナスの巡回調査では、発生圃場率は55.6%、葉の被害度は26.7で、平年(24.9%、0.9)より発生が多かった。
- (2) 9月1半旬までのフェロモントラップへの誘殺虫数(野菜地帯7圃場の平均)は平年よりやや少なめで推移していたが、2半旬以降増殖が顕著となり、6半旬には793頭(昨年424頭、平年581頭)に達した。
- (3) 9月28日発表の1ヶ月予報では、気温は、高い確率が50%と見込まれており、発生助長的気象条件である。

[フェロモントラップへの誘殺虫数]

(調査圃場の平均値)

旬 月半	ハスモンヨトウ				
	2007年	2006年	2005年	2004年	平 年
9. 1	187	708	412	351	450
9. 2	445	527	394	507	426
9. 3	492	502	352	378	520
9. 4	355	398	138	598	560
9. 5	418	586	570	751	594
9. 6	793	424	497	889	581



調査圃場：徳島市(川内，不動)，阿波市(柿島，香美)，吉野川市(鴨島町)，石井町，東みよし町加茂

5. 防除法等

- (1) 卵塊や分散前の若齢幼虫を発見したら，速やかに捕殺する。
- (2) ハスモンヨトウは，幼虫が大きくなると薬剤が効きにくくなるので，若齢幼虫期に防除する。
- (3) フェロモントラップによる予察で防除適期を判断する場合は，誘殺ピーク(発蛾最盛期)から7～14日後を目安とする。
- (4) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。
- (5) 防除等の詳細については，県植物防疫指針を参照するとともに，薬剤の使用に当たっては，必ず農薬ラベルの記載事項を遵守する。



卵塊



若齡幼虫



4齡幼虫



成虫